

3回目の質問をいたします。

1点目は総務行政についてです。

前場新市長の公約について伺います。

選挙公報、法定ビラや後援会からの討議資料に公約が掲げてあります。ここでは是非とも市長に結城市にかける思いの一端をお伺いしたいと思います。

昨日、所信表明演説にもありましたので、ダブルところは御了承いただきたいと存じます。

まずは、行財政改革について伺います。

本市に於かれましても、改革すべき前にもっともっと「やるべき事はあるだろう」と感じております。議会費の削減については、議会改革はもとより、議員報酬や議員定数も今後の課題だと思っております。その他、公務員給与や費用対効果の望めない事業の検討等、削るところは削って財政の健全化に取り組み、次の施策に取り組むべきと考えるところでございませう。

教育・福祉について伺います。

次代を担う青少年の教育は絶対に必要不可欠で是非とも力を入れていただきたいと願っております。栃木県足利市では小規模特定校について土曜日の授業を開始し、子どもの教育に力を入れ、学力・体力・人間力の向上にと取り組んでいると伺っております。

また、子どもの医療費助成等についてもお願い致したいと思っております。

福祉についても高齢化社会に入っておりますので、いかに健康でいつまでも生き生き出来る環境整備が望まれていると感じております。

地産地消及び結城ブランド創生について伺います。

結城ブランドの創生については是非とも確立化を考えていただきたいと思うところがございます。結城には良い物がたくさんあります。その品々をブランド化してスマートなセールスプロモーション活動する必要があると考えます。その為には情報の発信拠点も必要になるのではと考えております。

そして、新庁舎建設について伺います。

なぜ新庁舎なのか・・・と多くの市民から声を聞きます。

現状の分析から、基本構想等があるかと存じます。今後の方針について伺います。

「きらりと光るまちづくり」で、何か他の地方自治体とは違うなあ・・・

そんな「結城の未来を、結城の将来性を、結城の明日を」よろしく願い致します。

2 点目は鹿窪運動公園林間広場について伺います。

林間広場パークゴルフ場は高齢者の健康維持・健康管理そして高齢者に不足している友達作りに大変役だっていると思っております。

健康増進とコミュニティの観点では、年齢にかかわらず家族でも地域でも気楽に楽しめるすばらしいスポーツであり、200 人を超えるパークゴルフ協会員を中心に 104 回開催されている月例大会で腕を磨き合っており、幅広い層の愛好者の存在があつて盛況をきわめておるところでございます。

近隣市町村のパークゴルフ場を視察してきたところ。

本県下妻市は小貝川ふれあい公園の広大な河川敷に複合施設として運営されております。栃木県上三川町は田川ふれあい公園の中にパークゴルフ場があり、鹿窪運動公園林間広場パークゴルフ場と同じくらいの規模で公園として機能しております。

本市の第 5 次結城市総合計画の「未来を担う子どもたちと地域を育むまちづくり」の中にある「基本施策 3・誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進」にもありますように、是非ともパークゴルフ場がプレイヤーにとって安心な公園・公園の来園者には安全で遊べるような施設を、「市民の為に 高齢者の為に スポーツ愛好者の為に」より良い環境整備が行われる事を願っているところでございます。

林間広場の今後の課題と環境整備等の取り組みを伺います。

最後に 1 点の要望をして終わりたいと思います。

この度、結城中学校の剣道部が県総体で大活躍し、女子団体戦の部で優勝、個人戦の部で男子個人優勝、女子個人が準優勝・第 3 位と輝かしい成績を残し、女子団体、男子個人、そして女子個人の 3 部門が全国総体出場を果たしました。その様な優秀な実績があるのはご存知の通りです。

武道必修化の採択ですが、本県に於いて公立中学校は 233 校、私立中学校 9 校、国立 1 校で 243 校ある中 52 校 (21.3%) が剣道に決まっていると伺っております。

私立学校に対する影響力はそれほど強くない新学習指導要領ですが、市立 9 校あるうち 4 校が剣道を選択いたしております。

国立の中学校、中高一貫校も剣道を選択していることから、学力レベルが優れている学校ほど剣道を選択している傾向が伺えるように感じます。

また、隣の古河市においては中学校が 9 校あるなか、9 校とも柔道ではなく 2 校が剣道を選択している状況です。

本市に於いては、24 年度から結城中・東中・南中とも柔道に決まっていると前回の一般質問の答弁でも伺っております。しかし、先に述べさせていただいた通り、本市の剣道は全国的にもレベルの高い地域でもあります。

ただ、強いからというだけではありません。

決して、柔道を批判するつもりは毛頭ございませんが、近年の柔道界の試合をオリンピッ

クや世界大会等で拝見する機会は数多くあります。優勝した瞬間に対戦相手の目前でガッツポーズをする光景を目の当たりにしますが、武道とは本当にそれでよいのかと考えます。剣道については、今でも試合の最中に一本を取ってからガッツポーズなどをすると、主審に一本を取消されてしまいます。試合の後、お互いに礼をして終わりますが、きちんと礼をしないと出来るまで何度でも主審の先生に注意され出来るまで指導を受けます。

私の道場の館長は良く子ども達に試合で優勝すると口癖のように言う言葉があります。

「勝って兜の緒を締めよ」「打って反省、打たれて感謝」とおっしゃいます。

その様な相手を敬う精神のある武道を少しでもわかっていただけたら、青少年の健全育成につながると感じておるところでございます。

本市中学校武道選択を再度検討していただき、3中学校ある中、1校でも良いので少しでも剣道の精神を学んでいただけたら、今後の子ども達の将来に役立てる事があるのではないかと考え武道の選択について強く要望いたします。

これで、質問を終わります。